



## ☆雨の日はこんなトラブルに注意！！

雨天時は路面が滑りやすくなるだけでなく、視界も悪くなり危険の発見が遅れたり、危険を見落としたりしやすくなります。

雨が運転に与える影響として主に…

### 路面が滑りやすくなる

雨天時は路面が濡れて滑りやすくなっているため停止距離が長くなり、スリップする危険があります。

### フロントガラスやミラー等が見えにくくなる

雨天時はフロントガラス等に水滴が付着して前方、後方、側方の視界が悪くなり車内のガラスが曇ることがあります。

### 他車の水しぶきで視界を遮られる

前方や側方通過車、対向車がはね上げる水しぶきにより、一瞬、視界が遮られることがあります。

### バック時の安全確認が不十分になる

雨天時に屋外でバックする際は、ドアミラー等が水滴で見えにくいため、安全確認が不十分になります。また、バックモニターの映像が見えづらくなっているので、見落としの危険性が高まります。

### ☆安全走行のポイント☆

- ・タイヤの溝の点検
- ・速度を落とし車間距離は長めに
- ・「急」のつく運転操作をしない  
急ハンドルなどせず冷静な運転を心がける
- ・見通しが悪い時はライトを点灯  
雨天時は昼間でも薄暗い時があるためヘッドライトを点灯させ自車を目立たせる
- ・視界をできるだけ良好に保つ  
車内外のガラスの清掃とワイパーのゴムの劣化を点検  
曇りを除去するために「デフロスター」を活用
- ・水しぶきを浴びてもあわてない  
車間距離を取り、ハンドルをしっかりと持ち、道路や他車の状況をこまめにチェックし危険を予測して運転する
- ・進路変更やバック時の確認  
水滴が付着したミラーは見えにくいので自分の目で確認し、歩くくらいの速度で慎重な運転操作を行う

### 🌀台風接近時の運転の注意事項！

台風が接近した際は、大雨や強風によって危険な状態に陥ることがあるため、外出自体を控えることが大前提ですが、やむを得ず運転をしなければいけない時は、次の点に注意しましょう。

- 1 低速で運転をする。
- 2 普段以上に車間距離をとる。
- 3 ハンドルは片手でなく、両手でしっかりと握る。
- 4 昼間でもライトを点灯して存在をアピールする。



# 鳥羽地区交通安全協会の交通安全活動

## ☆7月中の活動



答志小学校での交通安全教室(7/4・7/14)



河内老人会交通安全教室(7/22)



迫間集会所交通安全教室(7/22)



6年間ありがとう！  
私は、毎朝、交通量の多い市道の信号機のない横断歩道で子供たちの登校の見守り活動を行っています。  
近くの小学校の卒業式の日のこと。いつものように、横断歩道の前に立っていると、奇麗に着飾った卒業式に出席する小学校6年生の女の子が私の前に来て立ち止まり、笑顔で、「6年間ありがとうございました」と言ってくれたのです。  
私が見守り活動を始めた頃、その女の子はまだ幼く、お母さんと一緒に登校していたのに、成長したなあ。胸が熱くなり、私にとって忘れられない、とてもうれしい日となりました。  
西尾修 (三重県・64歳)

♥阿児支部西尾理事が見守る交差点でこのような心温まる出来事がありました♥

(JAF8月号より)

今後も、引き続き交通事故のない安心・安全な町を目指してこのような活動を継続しますので、どうか安全協会へのご協力をお願いいたします。